



伊野南小学校

◆一年生、元気に入学

4月7日に35名の新入生を迎える。全校児童198名のスタートとなりました。

入学式では、名前を呼ばれると元気に受け答えをしたり、2年生の発表に目をキラキラ輝かせて一生懸命、聞いたりしていました。

早速、8日からは1年生も給食が始まりました。給食は、保育園や幼稚園でも経験がある子どもたちですから、慣れた様子で配膳もして、もりもりと食べていました。「小学校の給食はどうですか?」と問いかけると、「おいしい」、「お代わりした」との元気な返事が返ってきました。また、給食委員会の上級生も手伝いに来てくれています。1年生が戸惑っているときなどにそっとサポートをしてくれていました。頼もしい上級生です。



◆年長児と一緒に田植えに挑戦

4月15日に八田地区の水田をお借

りして、保小中で田植えを行いました。朝、あいの保育園まで5年生が年長さんを迎えに行き、ペアになり手をつないで水田まで行きました。

そこで、八田保育園の年中さんと待ち合わせて一緒に田植えを始めました。田植えを経験した子どもたちも少なく、最初は泥に足を取られて水田の中で移動することも大変そうでした。苗を植えるのも慎重に植えていました。少し経つと、慣れて面白くなり、あつという間に植えてしまいました。苗の世話や植え方などを教えていただいた地域の皆さん、ありがとうございました。秋に実った米を収穫するのを目標に、次は草取りに行く予定です。

水田の中でも田植えを始めた。田植えを経験した子どもたちも少なく、最初は泥に足を取られて水田の中で移動することも大変そうでした。苗を植えるのも慎重に植えていました。少し経つと、慣れて面白くなり、あつという間に植えてしまいました。苗の世話や植え方などを教えていただいた地域の皆さん、ありがとうございました。秋に実った米を収穫するのを目標に、次は草取りに行く予定です。

前年度は2月16日に、体育館で伝統文化発表会と題して、保護者や地域の人を招いて発表会を開きます。5月から月1回のクラブ活動の時間を中心に練習を続け、2月に伝統文化発表会と題して、保護者や地域の人を招いて発表会を開きます。

和太鼓クラブの発表から始まりました。和太鼓の迫力ある音から始まり、太鼓を叩く子どもたちの顔は真剣そのものでした。落語クラブは、「小点」と題し、ちびっこ大喜利に挑戦。低学年と高学年のチームに分かれ落語を披露し、笑いで会場が包まれました。日本舞踊クラブは、女性らしく、そして、かわいい踊りを見せてくれました。剣道クラブは打ち込みや新聞切りを披露し、新聞がスパッと2つに切れるときから「おー」と歓声が上がりました。最後の箏クラブは、3曲を演奏し、体育館にきれいな箏の音が響き渡りました。

神谷小中学校

神谷小学校では、1年生から6年生まで全員がクラブ活動をしています。落語、日本舞踊、箏、剣道、和太鼓の5つから、自分の希望するクラブを選んで練習をしています。

5月から月1回のクラブ活動の時間を中心に練習を続け、2月に伝統文化発表会と題して、保護者や地域の人を招いて発表会を開きます。

前年度は2月16日に、体育館で伝統文化発表会が開催され、各クラブが一年間練習してきた成果を披露しました。

和太鼓クラブの発表から始まりました。和太鼓の迫力ある音から始まり、太鼓を叩く子どもたちの顔は真剣そのものでした。落語クラブは、「小点」と題し、ちびっこ大喜利に挑戦。低学年と高学年のチームに分かれ落語を披露し、笑いで会場が包まれました。日本舞踊クラブは、女性らしく、そして、かわいい踊りを見せてくれました。剣道クラブは打ち込みや新聞切りを披露し、新聞がスパッと2つに切れるときから「おー」と歓声が上がりました。最後の箏クラブは、3曲を演奏し、体育館にきれいな箏の音が響き渡りました。

発表会を終え、子どもたちの顔からは緊張がとけて笑顔が溢っていました。クラブ活動を通して、伝統文化に触ることで自分たちの住んでいる国を文化を身近に感じるとともに、受け継いでいくことの大切さを感じてほしいと思います。

